

# 元気UP アップ通信



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



進水式を見学する産業体験ツアーの参加者  
(三菱重工業(株)下関造船所)

## 産業体験ツアー わがまちの誇り「造船」の現場に迫りました

んには。市長の中尾友昭です。造船、港湾都市として発展してきた本市には、国際的に有名な工場や特色のある製品を生み出している地元企業が多く立地しています。こうした企業が下関市、そして私たちの暮らしを支えています。

これらの企業は市民の皆さんと接する機会が少ないため、どのような製品を製造しているのか、どのように地域貢献をしているのか知られていないように感じています。本市を支える産業活動や歴史、「ものづくり」の原点に触れながら地域に愛される地元密着企業の育成と振興を図るため、古くから市内に拠点を置く企業の工場などを見学する機会を皆さんに提供する新たな取り組みとして「産業体験ツアー」を実施することとしました。

第1弾は、30人の募集定員をはるかに超える申し込みをいただき、抽選を経て、7月2日に実施しました。100年以上もの間、本市の産業を支え「ものづくり」の原点とも言える「造船をテーマとして、その現場に迫るツアーです。

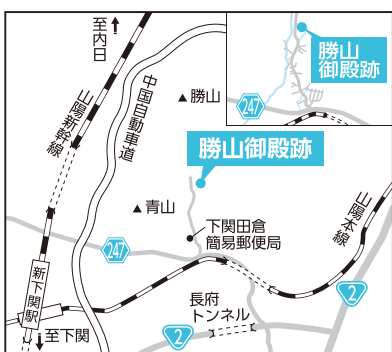
ツアーでは、本市の産業をけん引する企業の一つ三菱重工業(株)下

関造船所が建造する船の進水式を見学し、船が生まれる現場に立ち会っていただきました。進水した船は、1万5000トンの大型フェリーで迫力ある進水式を堪能していただきました。その後、このフェリーの建造や運航に直接関わる(株)シモセン、大田造船(株)を見学。航海する人々の命を守る設備や、鉄板を曲げて船の形に作り上げる職人の高度な特殊技術など日本が世界に誇る産業の現場を体験していただきました。

昼食には、下関市の地域産業資源に指定している料理の一つ「とまもんちゃん」(下関発祥の「とんちゃん鍋」)に下関産トマトなどを加えてアレンジした料理が入ったランチを楽しんでいただきました。

集の際にも大変関心を持っていただきましたが、実際に参加された方には、地元に住んでいながら今まで知らなかったものを実際に見て、聞いて、触れて、十分満足していただけたようです。9月に開催する第2弾も本市産業の魅力が満載です。8月で募集していますので、奮って応募いただき、わがまちの誇りを実感してください。

### 募



皆さんは、長府藩の城と言え、城下町長府の「串崎城」を思い浮かべるかも知れませんが、幕末期に勝山に築城された「勝山御殿」を知っていますか？

江戸幕府により新たな築城が禁じられていたため「御殿」と称したものの、高石垣をもつなどその形容は「城」そのものと言えます。高石垣上の土塁など、砲撃からの防御を意図した設計思想も如実に現れています。

文久3(1863)年5月から関門海峡では外国船との攘夷戦が始まりました。海岸線近くの

## しものせきナビ vol.58

幕末維新紀行

勝山御殿跡  
下関市大字田倉



長府宮崎にあった長府藩主の居館は艦砲攻撃の危険にさらされるため、周囲を山地に囲まれた田倉村に「勝山御殿」が築かれ、藩庁は移転されました。加えて、勝山御殿は防衛戦略上の拠点となり、周辺の要所には、砲台や土塁が配置され、攘夷戦の難局を乗り越える備えとされました。築城は文久3年6月に始まり、同年11月に竣工するという驚異的な速さで成し遂げられました。

勝山御殿跡では、平成14年から発掘調査が始まり、平成22年には調査成果を生かした地区公園がオープンしました。皆さんも歴史の息吹を感じに勝山御殿跡を訪れてみませんか？